

## 第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る南区検討懇話会 議事要旨

**開催日時**：2019年1月22日（火）10:00～11:45

**開催会場**：さいたま市南区役所6階大会議室

### 出席者（懇話会委員）：

青少年育成さいたま市民会議南区連絡会 副会長	秋本 清一 氏
さいたま市南区子ども会育成連合会 理事	網野 希美 氏
さいたま市南区自治会連合会 会長	石川 憲次 氏 (座長)
さいたま浦和地区更生保護女性会 理事	内田 淑子 氏
さいたま市南区社会福祉協議会連合会 会長	岡田 方之 氏
さいたま市南区保健愛育会 会長	片柳 香子 氏
さいたま市浦和商店会連合会 副会長	島田 定男 氏
さいたま市南区老人クラブ連合会 会長	関根 隆俊 氏
さいたま市南区民生委員児童委員協議会 副会長	寺尾 繁治 氏
さいたま市南区防犯パトロール協議会 副会長	野口 松一 氏 (職務代理)
さいたま市南区自主防災組織連絡協議会 会長	細淵 紀雄 氏
東日本旅客鉄道(株)南浦和駅 副駅長	水野 隆 氏
さいたま市交通安全保護者の会（母の会）南支部 支部長	村松 君江 氏

### （事務局：さいたま市）：

南 区 役 所：井上日出男区長／松井雅之副区長／細井博明区民生活部長／  
五島幸男健康福祉部長／竹越ヒロ子総務課長  
都市経営戦略部：西林正文参事／篠葉幸一参与

### 欠席者（懇話会委員）：

さいたま市PTA協議会南区連合会 理事	加納 紀子 氏
さいたま市南区明るい選挙推進協議会 委員	萩原 桂子 氏
公益社団法人埼玉中央青年会議所 副理事長	長谷川 功一 氏
さいたま市食生活改善推進員協議会浦和支部 リーダー	米澤 倫江 氏

### 議題：

次期総合振興計画 南区の将来像（案）について

①将来像

②まちづくりのポイント

**公開又は非公開の別：公開**

**傍聴者の数：0人**

**審議した内容：議題に同じ**

問合せ先：南区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-844-7123

## 1 開会

## 2 意見交換

次期総合振興計画 南区の将来像（案）について

- ①将来像
- ②まちづくりのポイント

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

・まちづくりのポイント4 (2)の地域資源の発掘・創造の対象となる「資源」について、単純に歴史・文化的な資源だけなのか。現在南区内に在住し、主に都内で活躍している「人の資源」を活用する、活かすといった視点はどこに含まれているのか。

・「広く」住民の意見を聞いたとは、どのようにして意見を聞いたのか。また、救急医療等、医療の充実についても、まちづくりのポイント3 安全・安心なまちづくりのなかに取り込んでいただきたい。

（事務局）

※市民ワークショップでは公募で委員を選出し、意見収集している。加えて、タウンミーティング、市民意識調査の意見も反映している。

・民生委員の立場からみて、100歳体操等の参加者が増えてきている。補助金（5,000円）交付の根拠となるチケットは最大250枚だが、枚数の上限を改定してほしい。また、高齢者のペットの問題について、里親探し等の処置を考えていただきたい。

・将来像のキャッチフレーズの副題について、私の心の一等地の後に「南区」と入れていただきたい。

・最近、外国人の鉄道利用者が多くなってきたと感じる。区の将来像には外国人住民との共生の視点を入れていただきたい。

・将来像の「にぎわい」について、どのようなところに賑わいを求めていくのか。定期開

催される祭りやふれあいフェスタに限らず、日常的なあいさつなどで地域との結びつきを求めていくのもよいと考えている。

・まちづくりのポイント3 安全・安心なまちづくりについて、地域によっては水害等、度々被害が発生している地域があるのではないかと考えるので、災害に強いまちづくりの取り組みとして調査・対策等の推進を図っていただきたい。

・まちづくりのポイント4 子どもから高齢者まで元気に暮らせるまちづくりの部分が良いと感じる。南区は若い人のまちというイメージが強い。浦和との差別化を図るという観点から、南区内での交流をどうするかが課題であると思う。また、将来像について「あなたが主役、住んでよかったまちづくり」がやっと馴染んできたところだった。定期的に改定する必要はあるのか、確認されたい。そして素朴な疑問ではあるが、南区の外国人人口は多いほうなのか。

(事務局)

※外国人人口は2,532人、10区のうちで一番多い状況となっている。

・将来像のキャッチフレーズの副題で、「一等地」という言葉に違和感を覚える。他に何か良い言い方はないか。

・高齢者が多くなってくる中で、今後は上手に地域の若い方々の力を借りていかなければと考えている。

・とても良い案と思うが、将来像のキャッチフレーズの副題で「私の心の一等地」という言葉に違和感を覚える。まちづくりのポイント1 (2)の協働によるまちづくり、2 (5)の高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりは大切だと感じており、是非実行につながればと思っている。

・文章のとおり、将来像に向かって動いていただければと考えている。

・自治会の加入率の推移は、現状どうなっているのか。

(事務局)

※65.7%である。さいたま市全体では63%なので多少良いほうではないかと考える。

・まちづくりのポイント5 の都市環境整備について、南区にはJRの乗換え駅が2つ有り、「利便性が高い」まちとしての特色をもう少し活かした文章表現にしても良いのではないか。また、南浦和駅と武蔵浦和駅との距離感はどうしようもないのですが、2つの駅の間に立地する文化センターなどを取り込んだ、周辺のまちづくりにスポットをあてれば、多

少でも距離感が狭まるような雰囲気も生まれるのではないか。

(事務局)

※「将来像」については長期的に市民の皆さんと一緒に実行していくものと位置付けている。そのため、あまり細かい事項は盛り込んでいない。今後具体的な取り組みを実行していく中で、さまざまな事業を盛り込める書きぶりとしたい。

(事務局)

※ご質問・ご意見いただいた事項について回答したい。まちづくりのポイント4.(2)の人的資源の活用に関する言及については、都内で活躍するサラリーマン等の地域活動への取り込みも考えていきたい。また、3 安全・安心なまちづくりへの医療の充実という観点の追加については、ニーズの本質がどういうものかということについて言及し、様々な手法を検討したいと考えているため追加を控えさせていただきたい。外国人住民については、国籍にかかわらず、日本人と同じ「区民」として扱いたいと思っている。そして、将来像のキャッチフレーズの副題について、何かいい案を提案いただけるのかどうか、再検討させていただきたいと思っている。

・医療機関の充実については、安心・安全を市民に知らせるためには書いておくべきではないか。また、10区の中で最も外国人人口が多いこと等を踏まえ、外国人に対して優しいまちづくりは書いておくべきではないか。南区のように人口が年に2万人増えている都市は他にない、とにかく一度検討してほしい。将来像のキャッチフレーズの副題についてはこころのふるさと、安寧の地という表現がよいのではないか。

(事務局)

※医療の充実という観点は、個別計画・分野別計画に反映させていただきたい。

・将来像のキャッチフレーズの副題についてはアンケートをとっていただきたいと思っている。

(事務局)

※取り急ぎこの懇話会の場では、将来像のキャッチフレーズの副題が要るか要らないかについて、決めていただきたい。

(委員挙手による採択結果 将来像のキャッチフレーズは必要：必要でない = 8 : 5)

(事務局)

※採決結果については、今後、将来像策定に向けて反映させていただきたいと考えている。

・将来像のキャッチフレーズの副題案として、「私のこころのまち、南区」はどうか。

・将来像のキャッチフレーズの副題案として、「皆さんのこころのまち、南区」はどうか。

- ・今後、委員の意見を最大限活用した計画づくりを進めていただきたいと思う。

### **3 閉会**